

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東葛ホールディングス
 コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石塚 俊之
 (氏名) 吉井 徹

TEL 047-346-1190

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,676	14.7	243	22.8	239	24.1	145	27.2
26年3月期第2四半期	3,205	△6.1	197	4.8	192	6.0	114	4.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 145百万円 (27.2%) 26年3月期第2四半期 114百万円 (4.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	30.22	29.69
26年3月期第2四半期	23.76	23.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,038	3,183	45.0
26年3月期	7,108	3,082	43.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,169百万円 26年3月期 3,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,003	7.2	493	3.0	480	0.8	298	10.1	61.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期2Q	4,830,000 株	26年3月期	4,830,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	1,304 株	26年3月期	800 株
----------	---------	--------	-------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期2Q	4,829,120 株	26年3月期2Q	4,829,200 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）におけるわが国の経済環境は、設備投資、個人消費等に持ち直しの動きに弱さがみられるものの、緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、昨秋以降に発売された新型車の販売は比較的堅調に推移したものの、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が長期化していることもあり、当第2四半期連結累計期間の国内新車販売台数は2,473,654台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比2.8%減）となりました。

車種別では、ハイブリッド車（フィットハイブリッド、アクア等）、軽自動車（N-BOX、ムーヴ等）、コンパクトカー（フィット、ヴィッツ等）が販売の上位を占めております。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、消費税引き上げに伴う反動減が長期化しておりますが、前期末に発生した売れ筋車種のリコールや降雪による車両納期の長期化が改善されたこと等から販売台数は1,158台（前年同四半期比12.1%増）となりました。販売車種構成につきましても登録車の販売比率が前年同四半期に比べて増加したことから1台当たりの販売単価は上昇しました。また、整備業務を行うサービス売上、販売台数の増加に伴い登録受取手数料等の手数料収入はともに増加しました。その結果、売上高は29億79百万円（前年同四半期比16.8%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車部門からの下取車のほか、オークション等からの外部仕入も行い、引き続き販売車両の確保に注力しました。販売台数は1,029台（前年同四半期比0.4%減。内訳：小売台数473台（前年同四半期比0.6%増）、卸売台数556台（前年同四半期比1.2%減））となりましたが、比較的销售価格の高い小売台数の販売比率が前年同四半期に比べて増加したことから1台当たりの販売価格は上昇しました。また、整備業務を行うサービス売上、登録受取手数料等の手数料収入も増加しました。その結果、売上高は6億48百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では、保険契約件数及び保険取扱手数料がともに減少したことから売上高は47百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は36億76百万円（前年同四半期比14.7%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は2億43百万円（前年同四半期比22.8%増）、経常利益は2億39百万円（前年同四半期比24.1%増）、四半期純利益は1億45百万円（前年同四半期比27.2%増）となり、いずれも前年同四半期比で増加となりました。これは、当社グループの主力事業である新車販売及び中古車販売の売上高が前年同四半期に比べて増加したことによるものです。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期末連結会計期間末の流動資産は41億75百万円となり、前連結会計年度末に比べて65百万円減少いたしました。これは現金及び預金が58百万円、商品及び製品が16百万円それぞれ増加、受取手形及び売掛金が23百万円、その他の資産が1億16百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は28億62百万円となり、前連結会計年度末に比べて4百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が2百万円増加、投資その他の資産が6百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は70億38百万円となり、前連結会計年度末に比べて69百万円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期末連結会計期間末の流動負債は33億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億51百万円減少いたしました。これは主に買掛金が59百万円、短期借入金が33百万円、未払法人税等が50百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は4億61百万円となり、前連結会計年度末に比べて20百万円減少いたしました。これはその他の負債が8百万円増加、長期借入金が28百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は38億54百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億71百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期末連結会計期間末の純資産合計は31億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億1百万円増加いたしました。これは主に四半期利益1億45百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は45.0%（前連結会計年度末は43.2%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には12億86百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は1億63百万円（前年同四半期は1億34百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2億39百万円から主に減価償却費55百万円、売上債権の減少額23百万円、たな卸資産の増加額68百万円、仕入債務の減少額59百万円、その他の資産の減少額1億7百万円及び法人税等の支払額1億35百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は5百万円（前年同四半期は15百万円の使用）となりました。これは有形固定資産の取得による支出2百万円、貸付金の回収による収入5百万円及び差入保証金の回収による収入2百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1億10百万円（前年同四半期は2億6百万円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出65百万円、配当金の支払いによる支出48百万円及び新株予約権の発行による収入4百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月5日に修正しております。詳細につきましては、平成26年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,228,020	1,286,318
受取手形及び売掛金	2,476,584	2,452,599
商品及び製品	282,436	298,879
その他	254,131	137,640
流動資産合計	4,241,172	4,175,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	508,512	491,797
機械装置及び運搬具（純額）	158,122	178,541
土地	1,935,816	1,935,816
その他（純額）	4,502	3,406
有形固定資産合計	2,606,954	2,609,562
無形固定資産	1,674	1,183
投資その他の資産	258,441	252,143
固定資産合計	2,867,069	2,862,889
資産合計	7,108,242	7,038,327
負債の部		
流動負債		
買掛金	516,696	457,415
短期借入金	2,489,225	2,455,535
1年内返済予定の長期借入金	64,284	60,754
未払法人税等	123,042	72,870
賞与引当金	43,189	43,342
その他	307,867	303,020
流動負債合計	3,544,306	3,392,938
固定負債		
長期借入金	232,771	204,159
その他	248,897	257,234
固定負債合計	481,668	461,393
負債合計	4,025,974	3,854,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,300	210,300
資本剰余金	199,711	199,711
利益剰余金	2,662,407	2,760,063
自己株式	△325	△533
株主資本合計	3,072,093	3,169,541
新株予約権	10,174	14,454
純資産合計	3,082,267	3,183,995
負債純資産合計	7,108,242	7,038,327

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
売上高	3,205,165	3,676,229
売上原価	2,400,775	2,823,695
売上総利益	804,390	852,533
販売費及び一般管理費	606,422	609,403
営業利益	197,967	243,130
営業外収益		
受取利息	964	885
受取手数料	1,955	2,978
その他	2,021	2,184
営業外収益合計	4,941	6,049
営業外費用		
支払利息	10,037	9,732
営業外費用合計	10,037	9,732
経常利益	192,871	239,446
特別利益		
固定資産売却益	1,509	—
特別利益合計	1,509	—
特別損失		
固定資産処分損	—	109
特別損失合計	—	109
税金等調整前四半期純利益	194,381	239,337
法人税等	79,618	93,389
少数株主損益調整前四半期純利益	114,762	145,947
四半期純利益	114,762	145,947

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	114,762	145,947
四半期包括利益	114,762	145,947
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,762	145,947
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	194,381	239,337
減価償却費	42,835	55,973
賞与引当金の増減額（△は減少）	△194	153
受取利息及び受取配当金	△964	△885
支払利息	10,036	9,732
固定資産処分損益（△は益）	—	109
売上債権の増減額（△は増加）	146,279	23,461
たな卸資産の増減額（△は増加）	△51,553	△68,589
仕入債務の増減額（△は減少）	△79,966	△59,281
その他の資産の増減額（△は増加）	3,089	107,567
その他の負債の増減額（△は減少）	△37,102	460
小計	226,841	308,040
利息及び配当金の受取額	27	27
利息の支払額	△9,953	△9,746
法人税等の支払額	△82,050	△135,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,865	163,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△153,135	△2,510
有形固定資産の売却による収入	129,561	—
貸付金の回収による収入	5,364	5,364
差入保証金の差入による支出	△33	△29
差入保証金の回収による収入	2,636	2,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,606	5,324
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△154,921	△33,690
長期借入金の返済による支出	△7,140	△32,142
配当金の支払額	△48,292	△48,292
自己株式の取得による支出	—	△208
新株予約権の発行による収入	3,936	4,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,417	△110,052
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△87,157	58,298
現金及び現金同等物の期首残高	1,134,108	1,228,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,046,950	1,286,318

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 （注）	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,551,159	601,961	3,153,121	52,044	3,205,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	147,955	—	147,955	—	147,955
計	2,699,114	601,961	3,301,076	52,044	3,353,121
セグメント利益	193,888	68,751	262,640	8,046	270,687

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	262,640
「その他」の区分の利益	8,046
全社費用（注）	△72,719
四半期連結損益計算書の営業利益	197,967

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,979,960	648,719	3,628,679	47,549	3,676,229
セグメント間の内部売上高又は振替高	182,380	—	182,380	—	182,380
計	3,162,341	648,719	3,811,060	47,549	3,858,609
セグメント利益	236,869	72,523	309,393	6,722	316,115

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	309,393
「その他」の区分の利益	6,722
全社費用(注)	△72,985
四半期連結損益計算書の営業利益	243,130

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、平成26年10月1日開催の取締役会において、以下のとおり、子会社「株式会社東葛ボディーファクトリー」を設立することを決議いたしました。

なお、同社の資本金の額は当社の資本金の額の百分の十以上に相当するため、当社の特定子会社に該当いたします。

1. 子会社設立の理由

これまで当社グループの中核事業である自動車販売関連事業を行う株式会社ホンダカーズ東葛及び株式会社ティエスシーにおける車輛整備のうち、鈑金塗装に係る整備につきましては協力会社へ外注委託をしておりました。この鈑金塗装を内製化することで当社グループの事業拡大を図ることを目的として、協力工場の1つである大和ボデー株式会社から事業を譲り受け、当社の出資により子会社を設立することといたしました。

2. 設立する子会社の概要

- (1) 商号 株式会社東葛ボディーファクトリー
- (2) 所在地 千葉県松戸市小金きよしヶ丘三丁目21番地の1
- (3) 代表者 代表取締役 松下 吉孝
- (4) 資本金 5,000万円
- (5) 設立年月日 平成26年10月2日
- (6) 出資比率 当社100%
- (7) 事業内容 鈑金塗装及びそれに付随する業務

（子会社における事業譲り受け）

当社は、平成26年10月20日開催の取締役会において、子会社である株式会社東葛ボディーファクトリーを譲受会社として、当社グループの協力会社の1つである大和ボデー株式会社が営む鈑金塗装事業を譲り受けることを決議し、同日に事業譲渡契約を締結、平成26年10月31日に事業の譲り受けを完了いたしました。

1. 事業譲り受けの目的

当社グループの中核事業である自動車販売関連事業を行う株式会社ホンダカーズ東葛及び株式会社ティーエスシーにおける車輛整備のうち、鈑金塗装に係る整備につきましては協力会社へ外注委託をしていました。この鈑金塗装を内製化することで当社グループの事業拡大を図ることを目的としております。

2. 事業譲り受けの概要

（1）譲り受け事業の内容

鈑金塗装及びこれに付随する事業

（2）譲り受け資産・負債の項目

譲渡対象事業に関する流動資産（棚卸資産等）、有形無形固定資産（土地・建物附属設備等）及び譲渡対象事業を遂行するために必要な契約等であります。

（3）譲り受け価額

譲り受ける資産金額は、27百万円であります。

3. 譲渡会社の概要

- （1）商号 大和ボデー株式会社
- （2）所在地 千葉県松戸市松戸574番地
- （3）代表者 代表取締役社長 久保田 典秀
- （4）事業内容 鈑金塗装及びこれに付随する事業
- （5）資本金 1,000万円
- （6）設立年月日 昭和43年4月10日

4. 譲り受け会社の概要

- （1）商号 株式会社東葛ボディーファクトリー
- （2）所在地 千葉県松戸市小金きよしヶ丘三丁目21番地の1
- （3）代表者 代表取締役 松下 吉孝
- （4）資本金 5,000万円
- （5）設立年月日 平成26年10月2日
- （6）出資比率 当社100%